

里山ガーデンファーム通信

2017

Vol.

02



福島を旅して

Vol.02

福島ってどんなところ？ 東京のアラサー女がいく

今回の取材は、会津から南相馬へと福島横断。車で走るとわかるが、福島県って本当に広いし、気候風土も多種多様。景色だってどんどん変わる。磐梯山に抱かれた会津地方は猪苗代湖が雄大だし、南相馬はゆったりとした空気が流れている。



今回は会津の女性を取材させて頂くことが多かったが、会津の女性は美しく芯が強い。会津の人を例えて「ならぬものはならぬ。」という潔い言葉もあるという。そういえば数年前の大河ドラマ「八重の桜」も会津が舞台だった。

取材を終えた後は、今回も農家民宿を営む菅野さん宅にお世話になる。二本松農園代表の齊藤さんも一緒だ。ここでは毎回美味しい料理とお酒をご馳走になりながら、お2人はじめ地元の農家の方のお話を聞くことができる。

今回は野菜の販売の話。彼らは度々野菜の販売に東京を訪れているのだが、先日は値付けをせずに販売してみたという。「値段がないから、お客さま自身がものの



価値を考える。他人と比べる人がいたり、僕たちに聞いてくる人がいたり。」

いつもより売上もよかったという。楽しそうに語らう菅野さんと齊藤さんは、いつもクリエイティブだ。

土地を生態系ごと守り、耕していく福島の農家の方とお話していると、どれだけその土地を大事に思っているかが分かる。一方で私も含め、東京の若者は土地にこだわらないリモートワーカーも多い。

どちらがいいとは言えないけれど、両極端な2つの働き方の接点があると思うとなんだか感慨深い夜だった。

平山美聡（ひらやま・みさと）

1988年生まれ、東京都出身。メーカー勤務を経て、デザイナー・ライターとして活動。趣味は釣り・絵を描くこと。座右の銘は「右往左往」。

里山ガーデンファーム

里山ガーデンファームでは、50以上の生産者が集い、福島の豊かな地形が生む様々な野菜や果物、加工品を生産している。

集荷センターなどを介さず、生産者から直接買って届くだけでなく、生産者に会いに行くと、実際に農業の体験もできる。

創り手と消費者が限りなく近い、信頼関係を築ける場所。おいしさと一緒に、福島の今を知ってもらいたい。

2017年10月20日 発行

平成29年度ふるさと・きずな維持・再生支援事業補助金（福島）により発行しています。

NPO法人 がんばろう福島、農業者等の会
〒964-0976 福島県二本松市新生町490
TEL:0243-24-1001 FAX:0243-24-1536

里山ガーデンファーム 野菜セット定期便

とれたての旬の福島県産野菜・果物・加工品を10品ほど詰め合わせ、毎月お届けします。ネットショップは「里山ガーデンファーム」で検索ください。



放射能自主測定はもちろん、有機JAS認定、特別栽培など「世界一安全でおいしい野菜」を目指しています。※写真はイメージです。

毎月第4日曜日配達 2,980円（送料・税込）

スタディファーム

概要

農園を訪ね、福島の農業現場を知り、農業を実際に体験するツアーです。1日1組限定です。



参加料金

大人：1,000円/人（税込）
子供：500円/人（税込） ※中学生以下

ご予約はこちらまで

0243-24-1001（二本松農園 事務局）

アクセス

電車にてお越しの場合
JR東北本線・二本松駅から車で15分

お車にてお越しの場合
東北自動車道：二本松ICから15分
※ナビをお使いの方は、電話番号（0243-23-2532 齊藤）で検索してください。
※駐車場有り



〒964-0976 福島県二本松市新生町490